

赤平再勢の火を描く

第38回
火まつり
新火文字の設置

まちの火は消さない…そんな想いからはじまったあかびら火まつり

37回続いてきた伝統の火文字

炭鉱まちの象徴「ズリ山」に灯され続けてきた火文字。見る人の心に感動を与える火は、受け継がれてきた魂であり、ふるさと赤平の希望である。

赤平市を取り巻く状況の悪化は、まちを揺るがす財政赤字問題に発展し、時代の変遷は、火まつり開催の危機を巻き起こした。

火文字とまつりをつないできた会場の赤平小学校は、児童数の減少により閉校に追い込まれた。跡地の買収により、校舎が解体され、事実上、37回続いてきた会場は変更を余儀なくされた。2月19日に火まつり検討委員会が招集され、次なる会場を探し、議論を展開した。会場選定の基準は、火文字が見える場所を最優先に検討された。

火まつり会場変更への経緯

会場変更は、火まつり始まって以来のことである。最大の障壁となったのは、火まつりのクライマックスである火文字に係わるセレモニーができるかどうかであった。火を使用するイベントだけに、民家、道路、地面等を考慮すると市街地での開催が困難となった。検討の結果、広さ、トイレ、ステージなど施設的に条件が整っているコミュニティ広場(警察署横)が、会場候補として最有力となった。

しかし、最大の問題は、火文字が半分しか見えないことだった。火まつりのメインである火文字が見えない会場に、頭を抱える検討委員たち…
いろいろな案が出されたが、解決への糸口は、見つからなかった。



新たな火文字をつくる

論点は、火文字が半分しか見えない中でセレモニーの演出をするか、火文字の位置を会場から見えるところに変えるかどうかの判断であった。

現実問題として、火文字の位置を変えることは大作業となることが想定され、予算状況からも困難との見方が強かった。現地を見て可能かどうか判断することになったが、ズリ山はまだその姿を見せず雪化粧のままだった。

雪解けを待つて、ズリ山に足を運んだ検討委員の目の前には、奇跡的な光景が広がっていた。斜面は急であったが、木がほとんど生えていないことは、新火文字誕生に向けての希望の光が射す出来事であった。

火文字を担当する火まつりやらん会は、現場での作業や設置が可能かどうか、実際に火の外形を創り出し、新火文字の設置が現実のものとなった。いま伝統の火文字は歴史的な転換期を迎える…



未来へつなぐ火を
子ども達に
伝えていきます



火まつりやらん会
堀口 貴久 さん

Fire Spirit 火まつりにかけの想い…
に聞きました!

回 火まつり再出発のとき

会場と火文字が変わる再スタートのとき、原点に立ち戻り、創りあげてきた人達の想いを感じ、昔ながらの手作業で一つひとつの火をつけていきます。

厳しい財政問題をまち一体となつて乗り切ったたくましさを表現し、再びまちを活気づける勢いのある火にしたいです。

回 まちの雰囲気をつくる

新たなチャレンジとして、火まつりへの応援団を増やしたいとの想いで、7月2日〜4日までの3日間、交流センターみらいの屋上で、ビアガーデンを開催し、火まつりへの雰囲気をつくっていきます。収益のすべては火まつりのために寄附しますので、ご協力をお願いします。

回 未来へつなぐ火文字

私達も子どもの頃は、火まつりを楽しみにしていました。今、火まつりに携わり、過去から受け継がれてきたこの火を未来ある子ども達にしっかりと伝えていくことが、今後も続いていく力になると思います。

味付 **モンギスカン**
炭火焼券

前売りしています!

販売場所 商工会議所
販売期間 7月15日(水)まで
販売額 1枚1,000円
(当日券1,200円)

あかびら★火まつりPR

ビアガーデン
チケット1000円 (3日間)

と き: 7月 2・3・4日
いずれも、18:00~20:00まで
場 所: 赤平市交流センターみらい屋上
主 催: 火まつりやらん会



募集 中

- 赤フンランナー
- 火文字ボランティア
- 子供みこし参加者
- 市民踊り参加団体
- 会場設営・撤収ボランティア

問合せ 火まつり実行委員会
事務局 ☎32-1841